

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	いまきいれ子ども発達支援センターまある	公表日 2026年2月26日
------	---------------------	----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・ロッカーなどを利用し、活動内容に合わせて部屋の広さを調整しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・子どもや親の状況に応じて臨機応変に対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・絵カードやマークで分かりやすく表示されている。 ・棚の上等、整備されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・活動ごとの清掃が徹底されている。 ・利用後は消毒等を行い感染面予防につとめている。	朝礼前と活動後は必ず手分けして清掃を行っています。 今年度は職員全員がより整理整頓を意識するよう外部講師の意見を反映しながら、安心安全な環境を整えました。来年度も継続していきたいと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・活動前より利用者の状況を予測しながら部屋の割り振りをしている。 ・静養室が子どもに応じて使用できるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・多職種で連携しながらそれぞれの視点で改善に向けて取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者向けの評価表にて保護者の意向を把握しその内容を踏まえて改善に取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定期的な面談やミーティングで話し合う機会がつけられている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・第三者委員より外部評価を年1回行い、よりよい業務運営につながるよう努力している。	今後も第三者委員による外部評価を行い、意見を反映しながら業務改善に努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部の先生による研修や院内研修の視聴をする機会が設けられている。 ・公開療育など学ぶ機会を作っている。	今後も計画的に研修の機会を設けるよう、業務調整をしていきます。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・園内、病院のホームページに掲載し誰でも見ることができるようにしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・丁寧な面談や日頃の活動含めて、保護者からのニーズ・悩みに沿った計画が作成されている。 ・職員間で話し合い、支援計画の作成が行われている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・カンファレンスや日々のコミュニケーションの中で情報共有しながら検討されている。 ・全ての職員が参加している。 ・各専門スタッフの意見などとり入れ検討を実施している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・多職種で関わり、専門的な視点で支援を行うことができている。 ・実施されている。 ・目標の達成へ向け、活動内容を考えたり工夫する姿が見られる。	今後も職員全員が支援計画を共有し、適切な支援ができるよう、定期的なカンファレンスや外部からの助言等ができるような体制作りを進めています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・職員全員で共通の評価表を使って発達状況を確認している。(遠城寺式乳幼児発達検査表) ・遠城寺や新版K式発達検査を、使用してアセスメントを専門的に実施している。 ・遠城寺式発達検査など。	ほかのアセスメントも検討し取り組みができるよう質の向上を図っていきます。

切 な 支 援 の 提 供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	・本人の生活や課題に沿って具体的に個性のある支援が設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	・リーダーを筆頭に進行や組み立ては話し合いながら立案されている。 ・スタッフミーティングを実施している。 ・毎回はしていない。	活動プログラムは毎回チームで行うわけではなく、個別保育や個別リハビリは対応する職員が立案し実施していることが多いため職員間で共有していけるように工夫していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・クラス内でリーダーを交代したり、イベントに向けて段取りを組み、内容が工夫されている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	・必要に応じて集団活動に向けた内容を個別活動に取り入れた計画支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・毎日必ず活動前にチームでミーティングし情報共有して連携を図っている。 ・ミーティングをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・良かった点、反省点を挙げて活動の振り返りを行っている。事例に応じて職員全員でのミーティングを行っている。 ・振り返りを実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・活動内容や状況を共通の記録様式で記録し、誰でも見返せるようになっている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・定期的にモニタリングが行われ、児童発達支援の見直しを行っています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・スタッフ間でも常にコミュニケーションを取り、子どもの状況は把握できるようになっている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・保健センター、病院、療育、保育園、幼稚園とは会議や電話で連携を図っている。 ・月に1回、連携している。 ・定期的に連携をとっている。 ・定期的に実施している。また子どもの変化等ある時は相互が連絡をすぐにとれる関係性にある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・幼稚園、保育園との連携を行っている。 ・実際に保育園や幼稚園に赴き、支援内容の情報共有と相互理解を図っています。	保育園や幼稚園等をまあるに招いての研修会は実施できていないため、来年度の課題です。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・就学まで関わることはないため。 ・対象児が小学校対象年齢ではないため。 ・就学への移行児がないため行っていないが、就学の情報や知識は常に把握できるよう努力はしている。	年齢的に就学支援は行っておりませんが、外部講師による研修の機会は設け、情報収集や知識の向上を図っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○	・相互に研修会の参加ができる体制になっている。 ・勉強会を行っている。	
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	・院内や院外における学会発表や研究発表に積極的に参加している。また職員は外部研修にも頻りに参加している。		
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○	・子育てサロンや健幸ひろばなどに参加している。 ・こども部会のメンバーでないため参加はしていないが、子育てネットワーク会議や県や市のセンター会議には積極的に参加している。		

	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを通して他クラス、年齢の子ども同士で関わる機会が作ることができている。 ・子育てサロンや子育て広場を通して地域の子どもたちともつながる活動をしている。 ・感染などの配慮もあり機会は少ないが、法人のイベント（クリスマス会）に保育園と一緒に参加した。 ・併行通園している園へ見学など行き、利用者の様子を見に行く機会をもうけ交流を行っている。 	
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・活動後に遊びや発達について振り返りながら、相談支援を行っている。 	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けのペアレントトレーニングの研修を行い、保護者同士でも振り返ることができた。 	
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約の時点で丁寧な説明を実施していますが、今後も丁寧な対応ができるよう意識していきます。
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・生活スタイルや移行後、家族背景を確認して計画作成を行っている。 	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・必ず説明を行っている。 	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・「前日の様子」など利用しながら、悩みに対して支援を丁寧に行っている。 	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のみの参加イベント（試食会やアロマ）や兄弟も参加できるきょうだいdayが設けられている。 ・ファミリーデーや行事を通して、交流を持つことができている。 ・活動の際に保護者同士で話す機会を作った。 	子どもが低年齢であり、家族背景なども考慮すると[父母の会]の実施は難しいですが、今後も保護者同士で相談できる場や学びの場を定期的に提供していきます。きょうだいへの支援は継続して行き、きょうだい同士での交流する機会は検討していきたいと思っています。
	40 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			「前日の様子」の用紙に記載されている相談内容などについて迅速かつ適切に対応するよう心がけております。
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・「ぐんぐんだより」やInstagramでまあるの活動について発信している。 ・おたよりを発行している。 ・いまきいれHPのSNSに実施している。 ・ぐんぐんだよりの他にもInstagramが始まったりと広がっている。 ・ぐんぐんだよりを月1回発行して、情報を発信している。 ・2カ月に1度おたよりを発行している。 	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		十分に配慮し、定期的に研修を実施しています。	
43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		様々な活動を通して、丁寧な説明を心がけております。		
44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・「健幸ひろば」や子育てサロンなど地域事業にも貢献している。 		

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・個別でも説明し、わかりやすいよう防犯ブザーの位置は貼り紙で目印を作っている。	定期的に周知できるよう、今後も計画を立てながら行っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・定期的実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・前日の様子に内服の欄を設けている。 ・疾患的に内服が必要な子どもに対しては、事前に薬の作用副作用を確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・メニューを分けている。 ・用紙等はない子もいる気がする。 ・小児科医師また栄養士と情報交換を行い対応している。	・病院の診察状況を把握し、また保護者からも常に情報を共有しながら対応を行っています。今後も継続して行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画は作成し、研修も行っている。定期的に計画の見直しやマニュアルの更新も行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			契約の段階において、安全面への配慮について説明していますが、定期的に周知する機会を設けていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・適宜周知して、対応の検討を他職種視点で意見交換している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修を実施している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・毎日適切であるか評価して、情報共有している。 ・カンファレンスしている。		